



冬のわくわく♪
としょかん教室

日時：12/11（日） 10：00～11：30

会場：ユメニティのおがた 小ホール

対象：小学生（定員 15名）

※応募多数の場合、抽選

内容：おはなし会やゲーム、工作

申込み期間：11/17（木）～11/27（日）

電話、または図書館カウンターでの
保護者の申込みが必要です。

詳しくは館内配布チラシを
ご覧ください。

新しいDVDが入りました♪

- 「命みじかし恋せよ乙女」
 - 「世界で一番しあわせな食堂」
 - 「記憶にございません!」
 - 「荒野に希望の灯をともし」
- など計22点

一般展示

「未来のためのSDG's」
～11/29（火）まで

児童展示

「へーんしん!
何になるのかな?」
～11/29（火）まで

開館時間：火～土 10：00～19：00

日・祝 10：00～17：00

直方市山部 301-11 TEL：0949-25-2240



図書館 HP



Facebook



図書館カレンダー・イベント

※新型コロナウイルスの感染状況によって、イベントは中止や変更となる可能性があります。

開催場所：♪…ユメニティ小ホール ☆…図書館前ロビー
その他…おはなしコーナー

11月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

- 8日（火） 11時～ 乳幼児向けおはなし会（麦のこ）
- 19日（土） 11時～ おはなし会（赤ずきん）
- 20日（日） 10時～ ☆ おもちゃ病院（受付終了：13時）
- 14時～ おはなし会（れろの会）
- 26日（土） 14時～ おはなし会（ごくらくとんぼ）
- 27日（日） 11時～ おはなし会（図書館職員）

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

- 3日（土） 10時～ ♪ 筑豊文庫資料室講演会 ※要事前申込み
- 11時～ おはなし会（まほうの箱）
- 14時～ おはなし会（やまびこ会）
- 11日（日） 10時～ ♪ 冬のわくわく♪としょかん教室 ※要事前申込み
- 10時～ ☆ おもちゃ病院（受付終了：13時）
- 14時～ ♪ ブラックパネルシアター（なのはな教室）
- 13日（火） 11時～ 乳幼児向けおはなし会（麦のこ）
- 17日（土） 11時～ おはなし会（赤ずきん）
- 18日（日） 11時～ おはなし会（図書館職員）

太字は17時閉館、■は休館日、
○はイベントのある日です。

テーマ
「欠片」
(カケラ・ピース)

そっとおとどけ

2022年11月号

毎月、司書がひとつのテーマに沿って本を紹介します。

※【】内は司書のペンネームです。

『空をこえて七星のかなた』 加納 朋子/著 Fカ

「七星、南の島へ行くぞ」パパと二人で石垣島へ行くことになった七星。ママのいない旅行は乗り気ではなかったけれど、パパには隠れた目的があって…

散らばっていたものが突如、吸い寄せられるかのように一つに繋がる。完成して初めて、これは断片だったのかと気づく。その中心にいたのは？！

不思議な感覚を味わうことができます。星をめぐる七つのミステリー。【ペコ】

『記憶力日本一を5度獲った私の奇跡のメモ術』 池田 義博/著 002.7 イ

忘れずに覚えておこう！と思っていても、頭の中の記憶は消えてしまうものです。

そんな時「書き残すこと」は記憶を繋ぎ合わせる「ピース」になるはず。

デジタル化が進んでいる現代で書く習慣があるのも良いですよ。

試しにやってみようと思えるメモ術に出合えますように。【kn²】

『「はやぶさ2」リュウグウからの玉手箱』

山下 美樹/文 津田 雄一/監修 K538 ヤ

32億キロメートルの彼方にある小惑星「リュウグウ」のかけらを地球に届けた小惑星探査機「はやぶさ2」。6年半にわたる旅と調査の後、次の目標へと旅立った「はやぶさ2」自身が語るドキュメンタリーです。そこに描かれているのは、困難な課題やアクシデントに前向きに取り組んでいくプロジェクトチームの姿。調査写真やイラストも多く、臨場感にワクワクドキドキします。【スタ子】

『かんたんかわいいちぎり絵BOOK ちぎって貼って』

スティックのりと折り紙で楽しむ』 ウメチギリ/著 726.9 ウ

素朴なかわいらしさが魅力のちぎり絵。本書では、年賀状・グリーティングから、手帳などの日常を彩るものまで、様々なちぎり絵の作り方が紹介されています。

上手にできなくても大丈夫。小さなかけらを思いつくまま貼り合わせて、自由に楽しみましょう♪ 【K】

『ぼくを探しに』 シェル・シルヴァスタイツ/作 倉橋由美子/訳 K933 シ

何かが足りない。それでぼくは楽しくない。そこで足りないかけらを探しに行く。

あるとき、ぴったりのかけらを見つけた！うれしかったけど、でも何かが違うんだ…。

この本に出合ったのは、十代のころ。それから数十年過ぎて読み直すと、また当時とは違う読み方ができる。続編の「ビッグ・オーとの出会い」もどうぞ。【Bee】